

日程表 第1日目 4月18日(土)



	第1会場 4F ロイヤルホール1	第2会場 4F ロイヤルホール2	第3会場 3F 宮島	第4会場 3F 首戸	第5会場 3F 瀬戸	第6会場 3F 安芸	第7会場 32F ダイヤモンドルーム	第8会場 32F サファイアルーム
9:00	9:00-9:50 総会・開会の辞							
10:00	9:55-10:55 特別講演1 皮膚数値モデルが紐解く 蕁麻疹の病態と 最適治療予測の新世界							
11:00	11:00-12:00 特別講演2 医療制度と法律 わが国の医療システム・ 課題と展望を改めて考えてみる							
12:00	12:10-13:10 ランチョンセミナー1 皮膚科診療の中の スキンケアの新時代	12:10-13:10 ランチョンセミナー2 新しい蕁麻疹 診療ガイドラインを踏まえた 治療戦略	12:10-13:10 ランチョンセミナー3 長期寛解を見据えた アトピー性皮膚炎の薬剤選択	12:10-13:10 ランチョンセミナー4 円形脱毛症患者さんの 広がる治療選択肢 ～リットフォーロによる治療タイミング～	12:10-13:10 ランチョンセミナー5 実臨床で考える、 かゆみを軸とした アトピー性皮膚炎治療の次の一手	12:10-13:10 ランチョンセミナー6 レーザー治療 最前線 ～VbeamとPicoWayの臨床応用～	12:10-13:10 ランチョンセミナー7 汗とおいの悩みに、 もっと寄り添う多汗症診療	12:10-13:10 ランチョンセミナー8 ニキビ治療の最前線 ～東西融合のススメ～
13:00	13:20-14:20 シンポジウム1 ダーモスコピーで解き明かす 皮膚病理の形	13:20-14:20 シンポジウム2 どうする食物アレルギー	13:20-14:20 シンポジウム3 皮膚科医が知っておくべき ワクチンの知識	13:20-15:20 スポンサードシンポジウム1 炎症性皮膚疾患： より高い治療ゴール達成をめざして	13:20-14:20 シンポジウム4 新旧レジェンドから学ぶ 皮膚外科の進歩と伝承	13:20-15:30 勤務医委員会 セッション 地域皮膚科医療、 皮膚科診療連携の課題	13:20-14:20 シンポジウム5 見逃してはいけない 膠原病・血管炎の皮膚病変	13:20-14:20 シンポジウム6 医療倫理 インフォームド・コンセント、 個人情報の保護と利活用
14:00	14:30-15:30 シンポジウム7 どう違うの？ 赤ら顔のいろいろ	14:30-15:30 シンポジウム8 蕁麻疹・広島スタディーから 見えてきたもの	14:30-15:30 シンポジウム9 イボの診断・ 治療ってどうするの？		14:30-15:30 シンポジウム10 現場で使える！ 皮膚細菌感染症の治療戦略		14:30-15:30 シンポジウム11 葛西先生から学ぶ 「シミは診断がすべて」	14:30-15:30 シンポジウム12 どう変わった!? 白斑治療
15:00	15:40-16:40 スイーツセミナー1 アトピー性皮膚炎・乾癬の 外用療法をともに考える	15:40-16:40 スイーツセミナー2 乾癬診療の守破離 ～クリニックにおける全身療法～	15:40-16:40 スイーツセミナー3 外用療法の役割に迫る！	15:40-16:40 スイーツセミナー4 尋常性乾癬外用療法の治療戦略	15:40-16:40 スイーツセミナー5 化膿性汗腺炎治療の最前線 ～IL-17A/Fの役割を考える～	15:40-16:40 スイーツセミナー6 ニキビ治療の最前線： 皮脂腺をターゲットとした 新規レーザー「AviClear」 によるニキビ治療	15:40-16:40 スイーツセミナー7 クリニックだからできる乾癬診療の魅力！ 乾癬バイオ投与施設の 存在意義と施設連携を紐解く	15:40-16:40 スイーツセミナー8 見過ごされがちな 手汗の悩みに寄り添う ～手掌多汗症治療の実践～
16:00			16:50-18:05 文化講演 ヒロシマのミュージアムで 平和を学ぼう	16:50-18:05 文化講演 (中継)				16:50-17:50 スポンサードレクチャー1 尋常性乾癬および 乾癬性関節炎治療における バイオシミュラー製剤への期待
17:00								
18:00								
19:00								

■ 日本医師会生涯教育制度単位の取得について

当日ご来場の際に、セッション開始30分前から開始後15分以内に各講演会場前に設置された【参加証】をお取りください。参加証は、各県医師会への申請の際に必要となります。お取り忘れや紛失には対応できかねますので、大切に保管いただきますようお願いいたします。なお、演題によって取得可能なカリキュラムコードと単位数が異なりますので、ご注意ください。日程表の各プログラム右上の番号(カリキュラムコード)とマーク(単位数)にてご確認ください。

単位数マーク

◇ : 1単位

☆ : 2単位

単位数マーク
カリキュラムコード

単位数マーク
◇ : 1単位
☆ : 2単位

